

<<<<<<<<調査会ニュース>>>>>>>>(2003.3.1)

偽装工作について

荒木和博

本日、昭和 59 年に山梨で失踪した山本美保さんのお母さん、妹さんと昭和 60 年に兵庫で失踪した秋田美輪さんのお父さんが都内で会い、それぞれの失踪状況などについて情報の交換を行いました。救う会山梨の山下滋夫会長と調査会から荒木が同席しました（この件に関しては荒木の独断で事前に報道関係者にはお知らせしておりませんでした。ご了承下さい）。

二つの事件は 1 年半の間がありますが、同時期に同年齢の女性が似たような失踪をし、遺留品がどちらも日本海側の海岸にあったという事件です。いろいろと状況について話していて感じたのですが、これが拉致事件だと想定した場合、遺留品のバックはどちらも自殺を見せかけた偽装工作である可能性が強いということです。秋田さんのバックは失踪翌日、山本さんのバックは 4 日後に発見されていますが、このバックの発見によって山本さんが失踪した甲府市や秋田さんが最後に目撃されている神戸市の大学周辺については家族・関係者や警察の関心は離れていたことが分かりました。遺留品の置き方は極めて不自然であり、拉致であってもここから拉致されたのではないと思われま

す。拉致に関わる遺留品という意味では分かっている限りで一番古いのは寺越事件のときの乗船していた清丸と、その後発見された寺越武志さんの学生服です。学生服は拉致の数日後に波に漂っていたのが発見されていますが、これについて母親の友枝さんが後に武志さんに平壤で聞いたところ、「ああ、暑かったので捨てましたよ」と言ったそうです。5 月の夜の海で、しかも貴重な学生服を捨てるはずはありません。これも、海難事故を装うための偽装工作でしょう。地村さん夫妻の拉致事件で小浜公園に置かれていた地村さんの軽トラックもしく、このような偽装工作はさまざまな形で行われたと思われま

<<<<<<<<調査会ニュース>>>>>>>>(2003.3.8)

失踪者ポスター作成・CS放送でも情報発信

家族会・救う会の訪米団も予想以上の成果を挙げて帰途に着きました。短期間の準備で皆さん大変だったと思いますが、これが拉致問題解決の大きな前進につながるよう期待しています。ご苦労様でした。

さて、調査会では現在特定失踪者として発表した84人のうち国内での存在が判明した2人を除く82人など合計90人余の失踪者に関する情報を求めるポスターを作成しています。「など」にあたるのは特定失踪者のリストに入っていない失踪者(直近5年以内のケースや2次発表に間に合わなかった人)です。

このポスターは特定失踪者の一覧ではなく、(1)北朝鮮に拉致された可能性のある人、(2)自分の意志で失踪した可能性のある人、(3)他の事件に巻き込まれて失踪した可能性のある人、のポスターです。このポスターによって(1)の人に関する情報を集める他、(2)である人についてはそれを確認してリストを絞り込んでいくことを目的としています。

ポスターは現在民間産業の労働組合としては最大のUIゼンセン同盟の協力で同組合傘下組織約3000に下ろして掲示に協力していただけることになっています。それ以外にも配付の方法を検討しており、新たな情報を求めていく予定です。

また、このポスターとほぼ同じ情報を4月からスカイパーフェクTV!241ch(無料放送)ViTVで4月よりこの情報をご覧になれます。これは(株)シーエス東京のご協力によるもので主に一般放送終了後の深夜、毎日放送される予定です。スカイパーフェクTVが見られる環境でないと視聴できませんが、その環境があれば日本国内のどこでも見ることができます。放送時間等詳しいことはあらためてお知らせします。

<<<<<<<<<<調査会ニュース>>>>>>>>>>>(2003.3.15)

『法律家の会』設立へ

拉致問題に関心を持つ有志の弁護士の方々がこの 18 日、東京弁護士会館で『北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会』を結成します。発起人となっておられるのは以下の方々に、うち藤野・川人両弁護士は調査会の理事に就任されています(敬称略)

藤野義昭(調査会理事)・三善勝哉・木村晋介・川人 博(調査会理事)・二瓶和敏・齋藤健兒

すでにこの会の中心となる方々は特定失踪者調査に関する活動を進めて下さっており、今後は家族会・救う会などとも連携しながら活動を行う予定です。設立の会については関係者だけの会合であるためこれまで特段の広報をしていませんでしたが、調査会としても大変期待しているところです。当日は荒木代表・真鍋専務理事・増元理事らも参加する予定です。

なお、『法律家の会』に関するお問い合わせは発起人のお一人である齋藤健兒弁護士(事務所・03-3253-8138、携帯・090-3238-2687)までお願いします。

ポスター 25 日に完成

当初の予定より少々遅れましたが、失踪者の情報を求めるポスターが 25 日に刷り上がる予定となりました。すでにお知らせしたように、当面民間労組で最大の組合員数を擁する UI ゼンセン同盟のご協力、同組織の支部約 3000 力所に掲示していただく予定です。このニュースをお読みの方、関係者の方々も掲示のご協力をお願いします。

ポスターはでき次第希望に応じてお送りしますが、当会の予算上の問題もあり、誠に申し訳ありませんが 1 枚 100 円にて販売させていただきますのでご了承下さい。送料はこちらで負担します。現金書留で代金をお送りいただければ折り返しお送りします。2000 円(20 枚)程度まででしたら切手で送っていただいても構いません。ぜひ多くの方のご協力をお願いします。なお、ここに掲載されるのは特定失踪者として発表した 84 人のうち国内での存在の確認された 2 人を除く 82 人と、リストに加えるのを保留している直近 5 年以内の失踪者やリスト発表後に書類の届いた失踪者のご家族のうち公開を希望される方々のものです。したがって「特定失踪者のポスター」ではありませんので予めご了承下さい。

なお、CS 放送もシーエス東京のご協力と併せてポスターと同様の情報を一般放送終了後に流していただくことになっています。こちらは 4 月中旬からスタートの予定です。

また、ホームページはポスターなどと並行して準備を進めていますが、もう少し時間がかかりますのでご了承下さい。調査会のメールアドレスは 明日 16 日から chosakai@circus.ocn.ne.jp として開設されます。

<<<<<<<<調査会ニュース>>>>>>>>(2003.3.19)

「法律家の会」設立

昨日（18日）東京の弁護士会館で「北朝鮮による拉致被害者の救出にとりくむ法律家の会」が設立されました。これは拉致問題に関心を持つ有志の弁護士が結成したもので、これまでも個々に協力してきた方々はおり、日弁連も家族会から事情聴取を行い政府に要請書を提出したことはありましたが、救出のための法律家の組織ができるのはこれが初めてであり、今後の行動が期待されています。

当日は北海道・大阪もふくめ10人の弁護士が集まり、今後の活動について議論を行いました。増元照明事務局次長（調査会理事）、荒木調査会代表、真鍋専務理事も参加し、訪米の報告、調査会の活動についての説明などを行いました。

法律家の会では代表幹事に木村晋介・藤野義昭（救う会北海道代表・調査会理事）両弁護士を選任、幹事には川人博、斎藤健児両弁護士に加え大阪ないし兵庫の弁護士を加え、さらに必要に応じて補充することとなりました。また、事務局長は斎藤幹事が就任しました。

今後法律家の会では(1) 拉致被害者の救出およびその家族の支援のために必要な諸行動への法律家としての参加、(2) 特定失踪者問題調査会と連携した失踪者の調査活動への参加、(3) 拉致問題解決のために求められる刑事告訴、訴えの提起等の法的諸活動への参加、(4) その他拉致問題の解決に役立つ情報交換、言論、集会の開催及び制度的提言等の活動、をすすめていく予定で、調査会としても特定失踪者調査活動の進展にも大きく寄与するものと期待しています。